



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 あすか製薬ホールディングス株式会社

コード番号 4886 URL <https://www.asaka-pharma-hd.co.jp>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）山口 惣大

問合せ先責任者 （役職名）グループ経営企画部長 （氏名）市川 学 TEL 03-5484-8366

半期報告書提出予定日 2025年11月7日 配当支払開始予定日 2025年11月28日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	35,253	8.9	2,649	△20.8	2,660	△19.7	2,226	△13.0
2025年3月期中間期	32,371	2.3	3,345	9.5	3,312	7.0	2,560	△38.0

（注）包括利益 2026年3月期中間期 1,835百万円（△33.1％） 2025年3月期中間期 2,745百万円（△35.4％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	78.49	—
2025年3月期中間期	90.36	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	108,773	72,594	61.5
2025年3月期	103,889	71,555	62.9

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 66,856百万円 2025年3月期 65,310百万円

（注）当中間連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理を引き続き行っておりますが、取得原価の配分の一部見直しを行っており、2025年3月期に係る各種数値については、この内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
2026年3月期	—	27.00			
2026年3月期（予想）			—	28.00	55.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	71,000	10.7	6,000	12.5	6,000	17.5	5,000	△2.0
								176.22

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 -社 (社名) -、除外 -社 (社名) -

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	28,763,199株	2025年3月期	28,763,199株
2026年3月期中間期	367,074株	2025年3月期	399,476株
2026年3月期中間期	28,372,887株	2025年3月期中間期	28,334,112株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビュー対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は2025年11月11日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する資料につきましては、決算説明会開始までに当社ホームページ（<https://www.aska-pharma-hd.co.jp>）に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 研究開発活動に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
3. 補足情報	10
(1) 事業会社の主力品の売上高	10
(2) 臨床開発状況	11
(3) [連結]設備投資、減価償却費、研究開発費	12

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間においては、国内経済は雇用・所得環境の改善等により緩やかな回復が続いている一方、物価上昇の継続、米国の通商政策の動向、ウクライナや中東情勢の長期化等、依然として先行きは不透明な状況であります。当社グループの中核を占める医療用医薬品事業におきましては、毎年の薬価改定等、継続的な医療費抑制政策の影響を受け、引き続き厳しい事業環境が継続しております。こうした中、当社グループの事業は、医療用医薬品事業や動物用医薬品事業が堅調に推移した事に加えて、海外事業の売上寄与もあり、売上高は前年同期から2,881百万円の増収となる35,253百万円（前年同期比8.9%増）となりました。一方で利益面においては、研究開発費用等の増加により、営業利益は2,649百万円（同20.8%減）、経常利益は2,660百万円（同19.7%減）、親会社株主に帰属する中間純利益については2,226百万円（同13.0%減）といずれも減益となりました。

当中間連結会計期間における当社経営成績は以下のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (百万円)	当中間連結会計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	32,371	35,253	2,881	8.9%
営業利益	3,345	2,649	△696	△20.8%
経常利益	3,312	2,660	△651	△19.7%
親会社株主に帰属する 中間純利益	2,560	2,226	△333	△13.0%

セグメント業績は次のとおりであります。

① 医薬品事業

内科、産婦人科、泌尿器科の3分野に注力している医薬品事業は、毎年の薬価改定の影響を受けつつも堅調に推移しました。製品別にみると、産婦人科領域においては、子宮筋腫・子宮内膜症治療剤「レルミナ」が5,692百万円（前年同期比5.2%増）と順調に伸長したほか、月経困難症治療剤「ドロエチ」が4,109百万円（同14.5%増）と前年に続き大きく増加しました。さらに内科領域の主力品である甲状腺ホルモン製剤「チラーゼン」が4,306百万円（同6.3%増）、難吸収性リファマイシン系抗菌薬「リフキシマ」も3,880百万円（同20.2%増）と薬価のプラス改定の影響もあり大きく伸長しました。泌尿器科領域ではLH-RH誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤「リュープロレリン」が1,908百万円（同6.3%減）となりました。

以上の結果、セグメント売上高は29,255百万円（同2.2%増）となりましたが、研究開発費用等の増加によりセグメント利益は3,119百万円（同18.4%減）となりました。

② アニマルヘルス事業

動物用医薬品、飼料添加物等の製品を販売しているアニマルヘルス事業においては、動物用医薬品の増加を主因に売上高は3,765百万円（前年同期比3.4%増）となりました。また、セグメント利益は282百万円（同59.7%増）となりました。

③ 海外事業

前連結会計年度において、ベトナム製薬企業であるHa Tay Pharmaceutical Joint Stock Companyを連結子会社化した事に伴い、報告セグメント「海外事業」を新たに追加しました。海外事業については、売上高は2,133百万円、セグメント利益は132百万円となりました。

④ その他事業

臨床検査、医療機器等の事業を展開しているその他事業については、売上高は99百万円（前年同期比11.8%減）、セグメント損失は15百万円（前年同期は4百万円の損失）となりました。

※主力品の売上高については 3. 補足情報に記載しておりますので、ご参照ください。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4,884百万円増加し、108,773百万円となりました。これは主に、投資有価証券および売掛金が増加したためであります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ3,845百万円増加し、36,178百万円となりました。これは主に、長期借入金および買掛金が増加したためであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,038百万円増加し、72,594百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益の計上による利益剰余金およびその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末から1.4ポイント低下し61.5%となっております。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ3,540百万円減少し、7,062百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動におけるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、1,105百万円（前年同期は1,159百万円の増加）となりました。これは主に、仕入債務の減少や売上債権の増加はありましたが、税金等調整前中間純利益および減価償却費の計上によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、5,959百万円（前年同期は1,783百万円の減少）となりました。これは主に、関係会社株式の取得および有形固定資産の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果増加した資金は、1,382百万円（前年同期は2,406百万円の減少）となりました。これは、長期借入金によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2025年5月12日に公表いたしました「2025年3月期決算短信」の通期連結業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日（2025年11月4日）公表の「2026年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

（4）研究開発活動に関する説明

当中間連結会計期間における研究開発費総額は、3,703百万円であります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,603	6,621
売掛金	15,184	16,755
有価証券	555	827
商品及び製品	14,757	13,939
仕掛品	544	437
原材料及び貯蔵品	11,032	12,498
その他	5,423	6,823
貸倒引当金	△94	△77
流動資産合計	58,007	57,825
固定資産		
有形固定資産	18,709	19,268
無形固定資産		
のれん	2,784	2,408
その他	7,602	6,744
無形固定資産合計	10,386	9,153
投資その他の資産		
投資有価証券	12,327	17,786
繰延税金資産	2,312	2,293
その他	2,162	2,464
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	16,784	22,526
固定資産合計	45,881	50,948
資産合計	103,889	108,773
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,411	7,679
電子記録債務	2,735	1,859
短期借入金	4,461	3,702
賞与引当金	1,210	1,239
その他の引当金	73	—
その他	7,985	8,915
流動負債合計	22,879	23,397
固定負債		
長期借入金	6,441	8,932
その他	3,011	3,849
固定負債合計	9,453	12,781
負債合計	32,333	36,178
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	—	31
利益剰余金	59,545	60,921
自己株式	△704	△658
株主資本合計	60,039	61,492
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,853	5,695
為替換算調整勘定	—	△721
退職給付に係る調整累計額	417	389
その他の包括利益累計額合計	5,271	5,364
非支配株主持分	6,245	5,737
純資産合計	71,555	72,594
負債純資産合計	103,889	108,773

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	32,371	35,253
売上原価	16,463	18,267
売上総利益	15,907	16,985
販売費及び一般管理費	12,561	14,335
営業利益	3,345	2,649
営業外収益		
受取利息	1	21
受取配当金	148	176
その他	55	173
営業外収益合計	204	371
営業外費用		
支払利息	22	109
為替差損	—	92
固定資産処分損	101	72
その他	113	85
営業外費用合計	238	360
経常利益	3,312	2,660
特別利益		
有形固定資産売却益	—	96
特別利益合計	—	96
税金等調整前中間純利益	3,312	2,756
法人税、住民税及び事業税	602	753
法人税等調整額	150	△378
法人税等合計	752	374
中間純利益	2,560	2,382
非支配株主に帰属する中間純利益	—	155
親会社株主に帰属する中間純利益	2,560	2,226

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
中間純利益	2,560	2,382
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△115	839
為替換算調整勘定	—	△1,361
退職給付に係る調整額	△32	△27
持分法適用会社に対する持分相当額	333	2
その他の包括利益合計	185	△546
中間包括利益	2,745	1,835
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	2,745	2,320
非支配株主に係る中間包括利益	—	△484

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	3,312	2,756
減価償却費	1,069	1,355
のれん償却額	—	83
退職給付に係る資産負債の増減額	80	57
受取利息及び受取配当金	△149	△197
支払利息	22	109
為替差損益（△は益）	3	10
有形固定資産除売却損益（△は益）	0	△91
売上債権の増減額（△は増加）	△8	△1,662
棚卸資産の増減額（△は増加）	△326	△990
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,588	△1,950
その他	1,001	733
小計	3,418	212
利息及び配当金の受取額	146	196
利息の支払額	△22	△109
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△2,381	805
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,159	1,105
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△386
有形固定資産の取得による支出	△1,560	△1,984
有形固定資産の売却による収入	0	166
有価証券の償還による収入	500	496
無形固定資産の取得による支出	△418	△318
関係会社株式の取得による支出	—	△3,863
関係会社株式の売却による収入	—	44
その他	△304	△113
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,783	△5,959
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	3,500
長期借入金の返済による支出	△1,840	△990
短期借入金の純増減額（△は減少）	—	△262
自己株式の増減額（△は増加）	△0	△0
配当金の支払額	△566	△850
その他	—	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,406	1,382
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△68
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,033	△3,540
現金及び現金同等物の期首残高	16,738	10,603
現金及び現金同等物の中間期末残高	13,705	7,062

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間（自2024年4月1日 至2024年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬品事業	アニマル ヘルス事業				
売上高						
外部顧客への売上高	28,617	3,640	113	32,371	—	32,371
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	38	38	△38	—
計	28,617	3,640	151	32,409	△38	32,371
セグメント利益又は 損失(△)	3,825	177	△4	3,998	△652	3,345

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△652百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に持株会社である親会社に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自2025年4月1日 至2025年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬品事業	アニマル ヘルス事業	海外事業				
売上高							
外部顧客への売上高	29,255	3,765	2,133	99	35,253	—	35,253
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	42	42	△42	—
計	29,255	3,765	2,133	141	35,295	△42	35,253
セグメント利益又は 損失(△)	3,119	282	132	△15	3,519	△870	2,649

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△870百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に持株会社である親会社に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

（報告セグメントの追加）

前連結会計年度において、Ha Tay Pharmaceutical Joint Stock Companyを連結子会社化したことに伴い、報告セグメント「海外事業」を新たに追加しております。

3. 補足情報

（1）事業会社の主力品の売上高

主 力 品 の 売 上 高 （ 2 0 2 6 年 3 月 期 第 2 四 半 期 実 績 ）

あすか製薬株式会社

（単位：百万円）

品 目 名		前 期 2025年3月期		当 期 2026年3月期		対前年同四半期 増減率（％）
		第2四半期 実績	年間実績	第2四半期 実績	年間見込	
子宮筋腫・子宮内膜症治療剤	レルミナ	5,413	10,531	5,692	10,949	5.2
甲状腺ホルモン剤	チラーヂン	4,052	8,113	4,306	8,628	6.3
月経困難症治療剤	ドロエチ	3,589	7,502	4,109	8,275	14.5
高血圧症治療剤	カンデサルタン※	4,302	8,545	4,026	7,800	△ 6.4
難吸収性リファマイシン系抗菌薬	リフキシマ	3,227	6,455	3,880	7,517	20.2
LH-RH誘導体 マイクロカプセル型徐放性製剤	リュープロレリン	2,037	4,003	1,908	3,814	△ 6.3
月経困難症治療剤	フリウエル	1,550	3,149	1,509	2,946	△ 2.6
黄体ホルモン製剤	ルテウム	1,143	2,349	1,095	2,199	△ 4.3
抗甲状腺剤	メルカゾール	792	1,567	825	1,629	4.2
高血圧症治療剤	アムロジピン	400	797	404	790	0.8

※ カンデサルタン配合剤を含む

あすかアニマルヘルス株式会社

（単位：百万円）

事 業 分 野 名	前 期 2025年3月期		当 期 2026年3月期		対前年同四半期 増減率（％）
	第2四半期 実績	年間実績	第2四半期 実績	年間見込	
飼料添加物、混合飼料、飼料原料	2,275	4,584	2,249	4,488	△ 1.1
動物用医薬品	1,339	2,601	1,371	2,835	2.4

（２）臨床開発状況

臨 床 開 発 状 況

（2025年11月現在）

2025年11月4日

あすか製薬株式会社

区 分	（開発番号） 一 般 名	領 域・効 能	備 考
PhaseⅢ	（AKP-022） レルゴリクス配合剤	子宮筋腫	武田薬品工業㈱より導入
PhaseⅢ	（AKP-022） レルゴリクス配合剤	子宮内膜症	武田薬品工業㈱より導入
検証的治験 ※1	（MCN-009） 治療用アプリ ※2	過敏性腸症候群 （IBS）	㈱MICINとの共同開発
PhaseⅡ ※3	（AKP-009） ルダテロン酢酸エステル	前立腺肥大症	自社創製
PhaseⅠ／Ⅱ	（LPRI-CF113） ドロスピレノン	月経困難症	Insud Pharma（スペイン）より導入
PhaseⅠ	（AKP-021） mPGES-1阻害剤	－	自社創製

前回からの変更点

- ※1 MCN-009:治療用アプリにつきましては、(株)MICINと共同開発により検証的治験(医療用医薬品PhaseⅢ相当)を実施中であります。
- ※2 薬事上の一般的名称は新設予定のため未定であります。
- ※3 AKP-009:ルダテロン酢酸エステルにつきましては、杏林製薬(株)との共同開発・販売に関する契約を解消しました。
- ※ TRM-270:癒着防止材につきましては、PhaseⅢ終了後の協議により、共同事業化契約を終了しました。

(3) [連結] 設備投資、減価償却費、研究開発費

1. 設備投資（有形固定資産及びソフトウェア）

	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
第2四半期	370 百万円	1,677 百万円	1,901 百万円
通 期	1,540 百万円	2,700 百万円	(予) 2,707 百万円

2. 減価償却費

	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
第2四半期	1,376 百万円	1,069 百万円	1,355 百万円
通 期	2,662 百万円	2,247 百万円	(予) 2,737 百万円

3. 研究開発費

	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
第2四半期	2,410 百万円	3,093 百万円	3,703 百万円
通 期	4,728 百万円	7,031 百万円	(予) 6,973 百万円